

学 校 自 己 評 価 表

学校法人セムイ学園 東海医療工学専門学校

評価対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

目 次

基準1 教育理念・目的・育成人材像等・・・1	基準6 教育環境・・・・・・・・・・・・・6
基準2 学校運営・・・・・・・・・・・・・2	基準7 学生の募集と受け入れ・・・・・・・・7
基準3 教育活動・・・・・・・・・・・・・3	基準8 財務・・・・・・・・・・・・・8
基準4 学修成果・・・・・・・・・・・・・4	基準9 法令等の遵守・・・・・・・・・・・・・9
基準5 学生支援・・・・・・・・・・・・・5	基準10 社会貢献・地域貢献・・・・・・・・10

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

点検項目及び現状認識・評価等

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
1-1	学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められ、実現するための具体的な計画・方法を持っているか	3	<p>《 教育理念 》</p> <p>人のいのちを守り、社会に貢献したいという強い信念を育てる</p> <p>《 育成人材像 》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全国の公的組織（消防・警察・自衛隊など）に求められる優秀な救急救命士 2. 救急救命士として必要な知識と技術を学ぶ上で必要となる、言葉や表現、社会に関する基礎的学力を有する者
1-2	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	<p>《 教育目標 》</p> <p>救急救命士は病院前救護活動に従事するのに際し、自らの社会的役割を認識しつつ、傷病者に対して適切に対応できるよう、基本的な能力を身につけること。</p> <p>また、主な就職先である消防職員として国民の期待に応えていくために必要な努力を惜しまず、磨きをかけていく「自覚」を教育していく。</p>
1-3	理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	3	<p>東海医療工学専門学校 救急救命科における「3つのポリシー」として下記の内容を掲げ、教務室内掲示板、ホームページなどで幅広く周知している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針） 2. カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針） 3. アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）
<p>[評価] ※ 4：適切 3：ほぼ適切 2：や不適切 1：不適切</p>			

根拠資料・セムイ学園ホームページ <http://www.tokai-med.ac.jp>

基準2 学校運営

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
2-1	人事、給与に関する規程等は整備されているか。	4	整備されている。就業規則、賃金規程等の諸規定は、学内サーバーの共有フォルダに保存されており、教職員が閲覧可能となっている。
2-2	学校の目的・目標を達成するための事業計画が定められており、学校は事業計画に沿って運営されているか	3	事業計画は、学園の組織目標に基づき、各校及び法人本部で作成し、評議員会及び理事会で意思決定されている。10月に事業計画の中間報告を行い、事業計画の進捗状況などについて報告と協議を行っている。今後は事業計画の主要項目を設定し、継続的に事業を進めていく。
2-3	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4	法人全体の重要事項については、理事会・評議員会が組織され、意思決定を行っている。また、毎月経営会議を開催し、学校経営に係る事項や不定期に発生する重要事項について、協議し、意思決定がなされている。
2-4	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	教育活動等の情報公開については、文部科学省の定めるガイドラインに基づき、学園のホームページにおいて情報公開に取り組んでいる。
[評価] ※ 4: 適切 3: ほぼ適切 2: や不適切 1: 不適切			

根拠資料

- ・セムイ学園ホームページ <http://www.tokai-med.ac.jp>
- ・令和3年度 セムイ学園 事業報告
- ・令和4年度 セムイ学園 事業計画

基準3 教育活動

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
3-1	教育目標・育成人材像は明確になっているか	3	指定規則、指導要領、救急救命士教育施設協議会の教育方針および教育目標に準じ、明確化している。
3-2	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	文部科学省「職業実践専門課程」認定校として愛知医科大学病院などから外部関係者による評価を実施している。
3-3	教育課程は、適切に編成されているか(体系的)	3	1年次に基礎医学教育、2年次に応用医学の教育カリキュラムを編成し、救急救命士国家試験出題基準などの項目を反映させている。
3-4	各科目はカリキュラムの中で適当な位置付けをされているか	3	厚生労働省指定カリキュラムに従い、救急救命士標準テキストを主体とした教授内容をシラバスなどに反映している。
3-5	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3	学則に基づく成績評価・単位認定を実施し、進級判定会議・卒業判定会議で承認する経緯で厳格、公正に判断している。
3-6	進級、卒業の基準は明確になっているか	3	上記同様。
3-7	教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	3	アクティブラーニングをはじめとする学生に効果的な教授方法を幅広く取り入れ、教育研修として普及啓発している。
3-8	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	年2回の学生授業アンケートを集計し、授業評価に応じた各講師へのフィードバックを実施するとともに教育環境の整備・改善を図る。
3-9	授業評価が授業改善に活かされているか	3	学生などの授業評価を基盤として、教育内容・教育環境の改善を図り、カリキュラムの根幹を形成している。
3-10	国家試験等の指導体制は確立されているか	3	定期的にオリジナル模擬試験で成績評価を行い、成績低迷時の個別指導や随時質問のできる教育環境を確立できた。
[評価] 4: 適切 3: ほぼ適切 2: や不適切 1: 不適切			

根拠資料：学則、スチューデントマニュアル（学生便覧）、セムイ学園ホームページ（職業実践専門課程の基本情報）

基準4 学修成果

(1) 点検項目

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	<p>主な就職先である消防職員として求められる公務員採用試験に対する模擬試験（専門業者委託）の強化、個人及び集団面接指導体制を整えている。近年導入されている「SPI試験」に対する模擬試験の実施および関連する図書整備の充実化を図っている。</p> <p>また職域拡大（法改正）に応じた医療機関への求人情報を集め、卒業生の就職選択の幅を拡げた。</p>
4-2	中退率の低減が図られているか	4	<p>学生に対する定期的な面談を行い、学力および進路に対する解決へ導いている。また学力不足による退学者を予防するために1年次よりオリジナル国家試験問題を行い、学習目標を明確化するとともに定期的な補習を行うことで学力の向上・維持を図る。</p> <p style="text-align: right;">* 令和3年度 退学率3.2%</p>
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	4	<p>国家試験の難易度は年々上昇し、必修問題も高度化している。本校オリジナル試験問題を作成し、試験結果を分析することで学生の苦手分野を明確化する。苦手分野に関しては随時解説として講義に反映させていき成績の向上を図る。再度、苦手分野の試験を行い、再評価を行う。(学修のPDCAサイクルを重要視していく)</p> <p style="text-align: right;">* 令和3年度 国家試験合格率91.1%</p>
<p>[評価] 4：適切 3：ほぼ適切 2：や不適切 1：不適切</p>			

根拠となる規定、資料等：文部科学省における「学生の中途退学や休学等の状況について」の資料

基準5 学生支援

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	教務・学生支援課を主体に情報提供を行い、全国的な就職活動を支援している。またエントリーシート（受験願書）の添削、個人および集団面接に応じた面接指導、試験対策となる一般教養の補習を定期的に行うことで就職率の向上へ反映している。 また卒後においても情報提供を主体に就職サポートを行っている。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	本来であれば保護者を年1回実施しているが新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的により、昨年度は開催を中止している。 成績および出席状況などが良くない場合は、随時、保護者へ連絡し、情報共有とともに早期解決を図った。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	3	卒業生に対する就職支援としてインターネットを用いた情報提供として就職サポートを行っている。 また国家試験不合格者に対して通信教育制度および聴講生制度による国家試験の学習支援を行い、卒後の合格率向上に努めている。
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか	4	個別面談を行い、定期的な教務会議で教員同士による情報共有に努めている。 また成績管理表を作成し、「眼に見える成績管理（可視化・自己認識できる）」として国家試験に向けた自己認識と成績向上に必要な学習指導を随時、実施している。
[評価] 4：適切 3：ほぼ適切 2：や不適切 1：不適切			

基準6 教育環境

点検項目及び現状認識・評価等

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
6-1	設備、機器・備品は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	学科からの教育機器、機材購入要望書に基づいて、購入検討を行い、適宜の機具機材を購入し、設備の充実を図っている。
6-2	防災に対する体制は整備されているか	3	備蓄品の保管スペースの確保と、予算化を行い、緊急時の食料品、衛生用品を備蓄している。令和3年度は防災備蓄食（240食）を購入した。引き続き飲食料、衛生用品の備蓄の充実を図っていく。
[評価] 4：適切 3：ほぼ適切 2：や不適切 1：不適切			

基準7 学生の募集と受け入れ

番号	点検項目	評価	点検項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	3	新型コロナ禍により例年実施している高等学校への訪問による情報提供を十分に行うことができなかった。 そのため、指定校推薦や在校生の状況報告は郵送にて対応した。
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	4	時代のニーズに沿った多様な入学試験を実施している。 ① A0入試は書類審査（エントリーシート）と個人面接により判定を行っている。 ② 学校推薦入試、指定校推薦入試、社会人入試、一般入試においては小論文の採点基準を設け明確化し、判定している。また、一般入試の学力試験は科目の選択が可能になっている。 ③ 留学生には留学生特別入試で対応している。 入学試験の合否決済については、学科長より校長へ決裁書の申請を行っている。
7-3	学生募集において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4	国家試験合格率、就職（内定）率などの情報はホームページやパンフレット等で情報提供を行っている。
7-4	学生納付金は妥当なものとなっているか	4	近郊の競合校と比較してやや低めの設定となっている。
[評価]	4：適切 3：ほぼ適切 2：や不適切 1：不適切		

根拠資料

- ・学校案内、サポートブック、募集要項
- ・ホームページ

基準8 財務

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3	ここ数年、事業活動収支は安定していてほぼ予定どおり推移している。今後、施設設備の拡充、維持の為に計画的な積立を予定している。
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものか	4	令和3年度の事業活動収支状況について支出はほぼ予算内であり収支額は予算より増益になっており問題なく執行されている。
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	年間をとおして公認会計士の取引監査を8回、残高監査を7回、計算書類監査を1回受け、監事の監査を年3回受け特に指摘を受けてない。
[評価] 4: 適切 3: ほぼ適切 2: や不適切 1: 不適切			

根拠資料

- ・ 令和3年度 事業活動収支計算書

基準9 法令等の遵守

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
9-1	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	養成施設自己点検表に基づき点検し、改善をしている。内部監査は本校職員の監査員4名と行政書士1名（学外者）で、6月と11月に教学に関する事項を重点的に行った。監事監査規則を施行し、期中監事監査を11月に実施した。監査結果は理事会で報告し、学校全体で問題点の共有、対応策を協議し、コンプライアンスの徹底を図っている。
9-2	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	専修学校として建学の理念・目的、教育および管理・運営内容の全般について、自己点検・評価を実施し、改善を図っている。 また、医療福祉関係職の養成施設自己点検表に基づき、自己点検を行い、実施結果に対して法人本部でモニタリングを実施しており、内部統制の意識の高まりにつながっている。
9-3	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人データの適正な取扱いを随時、学園内で周知徹底している。 物理的な管理、アクセス制御など外部からの不正アクセスの防止、サイバー攻撃に対しては監視などをしてセキュリティ対策を講じている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切			

根拠資料

・令和3年度 事業報告書

基準10 社会貢献・地域貢献

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	文部科学省推進事業「専修学校における先端技術利活用実証研究」のモデル校として先進技術の開発に貢献し、コロナ渦での学生の学びの継続に大きく貢献している。 また本校教員が各専門学校を訪問し、モデル校として情報提供およびインストラクションを行い、社会普及にも努めた。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	2	現在、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的にボランティア活動（いびがわマラソン救護支援活動など）は困難を極めている。 しかし地元小学校の校内見学（社会見学）の際に学生たちが小学生に対する見学支援を行い、日常における可能な限りのボランティア活動を推奨している。
[評価]	4：適切 3：ほぼ適切 2：や不適切 1：不適切		